

「第二外国語プラス!」ドイツ語圏コース

【ドイツ語圏コース教員一覧】

教員	専門分野	研究プロジェクトで指導可能な領域	英語対応
隠岐 理貴	哲学、政治思想史(特にイマヌエル・カント)	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋政治思想史/哲学史 ・ドイツ哲学 	○
デーゲン, ラルフ	外国語教育(ドイツ語教授法)、翻訳	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語教授法 ・質的研究・データ分析 ・翻訳 	○
山口 祐子	現代ドイツ文学・文化研究(20世紀を中心に)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴァイマル文化 ・文学・文化研究 ・文化史・メディア史 	×
山本 賀代	近・現代ドイツ文学(特にゲーテ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーテ ・ドイツ語圏の文化全般 ・日独比較文化研究 など 	×
米山 かおる	日独社会比較、移民研究、異文化間教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ語圏の現代社会と日本の比較 ・欧州を中心とした移民研究 ・異文化理解、文化研究、境界研究 など 	×

【ドイツ語圏コースの修了要件・認定科目】※1

必修第二外国語※2		ドイツ語 I ab/VIIIab	2 単位	8 単位
		ドイツ語 II ab/IXab	2	
		ドイツ語 III ab/X ab	2	
		ドイツ語 IVab/XIab	2	
コース認定科目	語学系	ドイツ語 IVab/XIab (2 コマ目以上)	各 2	8 単位以上
		ドイツ語 V	各 1	
		センター特設科目(ドイツ語科目)	各 1	
		オープン科目(ドイツ語科目)	各 1	
		その他、コースが認めるもの※3		
	講義系	複言語・複文化入門 I	2	
		文学(ドイツ語圏) I / II	各 2	
		地域文化論(ドイツ語圏) I / II / III / IV	各 2	
		ドイツ事情 I / II	各 2	
		専門外国書講読(独) a/b *三田開講	各 2	
		その他、コースが認めるもの※3		
	自由研究セミナー	コース教員による自由研究セミナー	4	
		その他、コースが認めるもの※3		
i) 研究プロジェクト	コース教員による研究プロジェクト ab	4	i または ii ※5	
	研究プロジェクト C	2		
ii) 留学	学部が認める留学(ドイツ語圏)			
	帰国後に報告書を提出※4			

※1 年度により開講される科目は変動する

※2 第三外国語の場合、ドイツ語 I、ドイツ語 II の 4 単位で要件を満たすことができる

※3 コース・コーディネーターに照会すること

※4 留学前にコース・コーディネーターと面談することが望ましい。報告書の提出要領は 2026 年 4 月公開予定。

※5 i・ii 両方を修了した場合、6 単位分をコース認定科目に読み替えることができる

【ドイツ語圏交換留学先一覧】※1

<全塾学生交換協定に基づく交換留学プログラム(国際センター)>

オーストリア

ウィーン経済経営大学

ドイツ

ベルリン自由大学※2	デュッセルドルフ大学※2	ハレ大学※2
アーヘン工科大学※3	ザールラント大学※2	ダルムシュタット工科大学※3
ミュンヘン工科大学	ドレスデン工科大学※2	ボン大学※3
ケルン大学	ジューゲン大学※3	WHU オットー・バイスハイム大学

スイス

ベルン大学※3	ザンクトガレン大学	チューリヒ大学※2
---------	-----------	-----------

<経済学部独自枠>※4

オーストリア

ウィーン経済経営大学

ドイツ

ケルン大学	フランクフルト大学経済学部	ライプツィヒ大学経済学・経営科学部
マンハイム大学経済学部		

スイス

ザンクトガレン大学

※1 詳細は国際センターおよび経済学部 WEB サイトを参照すること。留学先が一覧にない大学でも、条件を満たし得ると思われる場合は、コーディネーターに相談可

※2 履修可能言語はドイツ語のみ

※3 英語で開講されている科目は少ない

※4 どの大学も英語・ドイツ語で履修可能

「第二外国語プラス!」フランス語圏コース

【フランス語圏コース教員一覧】

教員	専門分野	研究プロジェクトで指導可能な領域	英語対応
大嶋 えり子	フランス現代政治、移民研究、政治とジェンダー	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス語圏の現代政治・現代政治史 ・フランス語圏文化と政治 ・日仏政治比較研究 ・フランス語圏の歴史認識問題 など 	○
ソッティエーレ, マルコ	日仏移民政策、日仏植民地史・教育史、ヨーロッパの移民・難民映画	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス及びヨーロッパの移民政策 ・フランスの植民地史 ・フランスの植民地教育史 ・ヨーロッパの移民・難民映画 など 	○
中川 真知子	20 世紀フランス文学・思想	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス文学 (20 世紀を中心に) ・フランス現代思想 (バタイユ、バルト、フーコーなど) ・フランスにおける文学理論・批評理論 ・日仏欧比較文学 など 	×
新島 進	近現代フランス文学、SF、サブカルチャー	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス文学 (19 世紀後半～現代) ・フランス語圏の SF 文学、SF 映画 ・フランス語圏の BD、漫画、アニメーション。フランス語圏における日本のサブカルチャーの受容 	×
福田 桃子	20 世紀フランス文学、フランス映画	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス文学 (19 世紀・20 世紀) ・フランス映画 	×
山本 武男	19 世紀フランス文学、ジャポニスム、日仏比較文学、映画	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代フランス文学 ・映画史 ・美術史 ・比較文学 	×

【フランス語圏コースの修了要件・認定科目】※1

必修第二外国語※2		フランス語 I ab/VIIIab	2 単位	8 単位
		フランス語 II ab/IXab	2	
		フランス語 III ab/X ab	2	
		フランス語 IV ab/XI ab	2	
コース認定科目	語学系	フランス語 IV ab/XI ab (2 コマ目以上)	各 2	8 単位以上
		フランス語 V	各 1	
		センター特設科目 (フランス語科目)	各 1	
		オープン科目 (フランス語科目)	各 1	
		その他、コースが認めるもの※3		
	講義系	複言語・複文化入門 I	2	
		文学 (フランス語圏) I / II	各 2	
		地域文化論 (フランス語圏) I / II / III / IV	各 2	
		専門外国書講読 (仏) a/b *三田開講	各 2	
		その他、コースが認めるもの※3		
自由研究セミナー	コース教員によるフランス語圏にかかわる自由研究セミナー	4		
	その他、コースが認めるもの※3			
i) 研究プロジェクト	コース教員による研究プロジェクト ab	4	i または ii ※5	
	研究プロジェクト C	2		
ii) 留学	学部が認める留学 (フランス語圏)			
	帰国後に報告書を提出※4			

※1 年度により開講される科目は変動する

※2 第三外国語の場合、フランス語 I、フランス語 II の 4 単位で要件を満たすことができる

※3 コース・コーディネーターに照会すること

※4 留学前にコース・コーディネーターと面談することが望ましい。報告書の提出要領は 2026 年 4 月公開予定。

※5 i・ii 両方を修了した場合、6 単位分をコース認定科目に読み替えることができる

【フランス語圏交換留学先一覧】※1

<全塾学生交換協定に基づく交換留学プログラム(国際センター)>

カナダ

モントリオール大学※2

フランス

ENS(高等師範学校)※2	EDHEC 経営大学院	ESSEC経済商科大学院大学
HEC経営大学院	INALCO(国立東洋言語文化大学)※2	リヨン第3大学
パリ政治学院	トゥールーズ大学	ストラスブール大学
コート・ダジュール大学※2	パリ第1大学※2	パリ・シテ大学※2
ソルボンヌ・ヌーヴェル大学※3		

スイス

ジュネーブ大学※3	ローザンヌ大学※3
-----------	-----------

<経済学部独自枠>※4

ベルギー

ルーヴァン・カソリック大学ルーヴァン・スクール・オブ・マネジメント

フランス

HEC 経営大学院	エコール・ポリテクニーク
-----------	--------------

※1 詳細は国際センターおよび経済学部 WEB サイトを参照すること。留学先が一覧にない大学でも、条件を満たし得ると思われる場合は、コーディネーターに相談可

※2 履修可能言語はフランス語のみ

※3 英語で開講されている科目は少ない

※4 どの大学も英語・フランス語で履修可能

「第二外国語プラス!」中国語圏コース

【中国語圏コース教員一覧】

教員	専門分野	研究プロジェクトで指導可能な領域	英語対応
鶴浦 恵	中国古典文学(白話小説)	<ul style="list-style-type: none"> ・中国古典文学 ・中国古典文学の日本における受容研究 (特に三国志演義などの白話小説) 	×
菅野 智博	中国近現代史 東アジア近現代史	<ul style="list-style-type: none"> ・中国近現代史 ・中国地域研究 ・満洲研究 ・中国農村社会に関する研究 ・満洲引揚者に関する研究 ・戦後日本の植民地記憶に関する研究 	×
呉 茂松	政治学・地域研究 近代化 現代中国論 近代化と知識人 現代中国政治社会思潮	<ul style="list-style-type: none"> ・中華人民共和国史 ・現代中国政治と社会 ・近現代中国と知識人 ・政治社会思潮 	×
千田 大介	中国通俗文芸 中国地域文化	<ul style="list-style-type: none"> ・中国古典通俗文学 ・中国伝統演劇・芸能 ・中国地域文化・飲食文化 	×
根岸 宗一郎	中国近現代文学 比較文学	<ul style="list-style-type: none"> ・中国近現代文学 ・比較文学(近現代の中国文学と日本文学・西洋文学) 	×
溝部 良恵	中国古典小説 六朝志怪・唐代伝奇	<ul style="list-style-type: none"> ・六朝志怪・唐代伝奇の作品研究 ・六朝・唐代詩文研究 	×
吉川 龍生	中国語圏映画 外国語教育 中国近現代文学	<ul style="list-style-type: none"> ・中国語圏映画の作品研究 ・中国語圏映画の産業研究 ・中国アニメ研究 ・映画字幕などの翻訳研究 ・中国語学研究 	×

【中国語圏コースの修了要件・認定科目】※1

必修第二外国語※2		中国語Ⅰ ab/VIIIab	2 単位	8 単位
		中国語Ⅱ ab/IXab	2	
		中国語Ⅲ ab/X ab	2	
		中国語Ⅳ ab/XIab	2	
コース認定科目	語学系	中国語Ⅳ ab/XIab (2 コマ目以上)	各 2	8 単位以上
		中国語Ⅴ	各 1	
		センター特設科目 (中国語科目)	各 1	
		オープン科目 (中国語科目)	各 1	
		その他、コースが認めるもの※3		
	講義系	複言語・複文化入門Ⅰ	2	
		文学 (中国語圏)Ⅰ /Ⅱ	各 2	
		地域文化論 (東アジア・中国)Ⅰ /Ⅱ	各 2	
		地域研究 中国事情Ⅰ /Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ/Ⅴ/Ⅵ	各 2	
		専門外国書講読 (中国語) a/b *三田開講	各 2	
		東アジア宗教文化概論Ⅰ /Ⅱ	各 2	
		その他、コースが認めるもの※3		
	自由研究セミナー	コース教員による自由研究セミナー	4	
その他、コースが認めるもの※3				
i) 研究プロジェクト	コース教員による研究プロジェクト ab	4	i または ii ※5	
	研究プロジェクト C	2		
ii) 留学	学部が認める留学 (中国語圏)			
	帰国後に報告書を提出※4			

※1 年度により開講される科目は変動する

※2 第三外国語の場合、中国語Ⅰ、中国語Ⅱの4単位で要件を満たすことができる

※3 コース・コーディネーターに照会すること

※4 留学前にコース・コーディネーターと面談することが望ましい。報告書の提出要領は2026年4月公開予定。

※5 i・ii両方を修了した場合、6単位分をコース認定科目に読み替えることができる

【中国語圏交換留学先一覧】※1

<全塾学生交換協定に基づく交換留学プログラム(国際センター)>

中国

北京外国語大学※3	北京師範大学	復旦大学
吉林大学※3	南京大学	南開大学※3
北京大学※3	中国人民大学※2	上海交通大学
清華大学	マカオ大学	西安交通大学※3
浙江大学	香港城市大学※4	香港大学※4
香港中文大学※4		

台湾

国立政治大学	国立成功大学※3	国立台湾大学
--------	----------	--------

<経済学部独自枠>

中国

復旦大学 経済学院	北京大学 光華管理学院	南開大学 経済学院
香港科技大学 工商管理學院※4	香港中文大学 社会科学院※4	

台湾

国立台湾大学 社会科学院	国立政治大学 社会学学院
--------------	--------------

※1 詳細は国際センターおよび経済学部 WEB サイトを参照すること。留学先が一覧にない大学でも、条件を満たし得られる場合は、コーディネーターに相談可

※2 履修可能言語は中国語のみ

※3 英語で開講されている科目は少ない

※4 履修可能言語は英語のみ

「第二外国語プラス!」スペイン語圏コース

【スペイン語圏コース教員一覧】

教員	専門分野	研究プロジェクトで指導可能な領域	英語対応
小原 正	スペイン植民地期のメキシコ史	ラテンアメリカの歴史	×
加藤 伸吾	スペイン現代史	スペインを中心とした西欧諸国諸地域の近現代史、民主化論・民主主義論、社会運動論	※3
工藤 多香子	文化人類学(カリブ海域・アフリカ)	カリブ海域におけるアフリカ系文化(特にキューバ、ハイチ)	※3
工藤 瞳	比較教育学(特にペルー、チリの教育政策や NGO の活動)	中南米の教育・子ども、スペイン語圏にルーツを持つ子どもの教育	×
佐藤 正樹	スペイン植民地期の南米アンデス史	ラテンアメリカの歴史・文化・思想全般	※3
丸田 千花子	20 世紀スペイン文学	スペイン文学、20 世紀スペイン文化・芸術全般、亡命作家研究	○
ミヤン・マルティン, アルベルト	スペイン語学、翻訳学、日本研究 (教育思想史)	スペインの文化事情、スペインと日本に関わる比較言語学・比較文化研究、日西関係史	○

【スペイン語圏コースの修了要件・認定科目】※1

必修第二外国語※2		スペイン語 I ab/VIIIab	2 単位	8 単位
		スペイン語 II ab/IXab	2	
		スペイン語 III ab/X ab	2	
		スペイン語 IV ab/XI ab	2	
コ ー ス 認 定 科 目	語学系	スペイン語 IV ab/XI ab (2 コマ目以上)	各 2	8 単位以上
		スペイン語 V	各 1	
		センター特設科目(スペイン語科目)	各 1	
		オープン科目(スペイン語科目)	各 1	
		その他、コースが認めるもの※3		
	講義系	複言語・複文化入門 I	2	
		文学(スペイン語圏) I / II	各 2	
		ラテンアメリカ研究 I / II	各 2	
		地域研究—スペイン事情 I / II	各 2	
		地域文化論(スペイン語圏) I / II / III / IV	各 2	
		歴史(スペイン語圏) I / II	各 2	
		美術(スペイン語圏) I / II	各 2	
		その他、コースが認めるもの※3		
	自由研究セミナー	コース教員による自由研究セミナー	4	
		その他、コースが認めるもの※3		
i) 研究プロジェクト	コース教員による研究プロジェクト ab	4	i または ii ※5	
	研究プロジェクト C	2		
ii) 留学	学部が認める留学(スペイン語圏)			
	帰国後に報告書を提出※4			

※1 年度により開講される科目は変動する

※2 第三外国語の場合、スペイン語 I、スペイン語 II の 4 単位で要件を満たすことができる

※3 コース・コーディネーターに照会すること

※4 留学前にコース・コーディネーターと面談することが望ましい。報告書の提出要領は 2026 年 4 月公開予定。

※5 i・ii 両方を修了した場合、6 単位分をコース認定科目に読み替えることができる

【スペイン語圏交換留学先一覧】※1

<全塾学生交換協定に基づく交換留学プログラム(国際センター)>

スペイン

ESADE ビジネススクール	ポンペウ・ファブラ大学	サラマンカ大学
バルセロナ自治大学	ナバラ大学	

メキシコ

モンテレイ工科大学

アルゼンチン

トルクアト・ディ・テラ大学

<経済学部独自枠>

スペイン

ESADE ロースクール

※1 詳細は国際センターおよび経済学部 WEB サイトを参照すること。留学先が一覧にない大学でも、条件を満たし得ると思われる場合は、コーディネーターに相談可